

地域の歴史を次の世代へ 町史が示す地域の絆

「研修会では、出典資料も紹介するよう心掛けています。参加者の皆さんにも紹介した文献などを手に取ってもらい、調べる楽しさや発見する喜びについても知ってもらえれば」と話すのは、新甲佐町史

研修会講師の佐藤征子さん（仁田子区）。
佐藤さんは、平成25年発行の『新甲佐町史』の編集委員長として編集作業に取り組み、現在は本町の歴史や成り立ちなどを広く知ってもらったため

「新甲佐町史研修会」の講師の1人として活動している。阿蘇地域をはじめとする県内民俗文化財の学術調査や保護を行っていた佐藤さんは、『新町史』の編集をきっかけに本町の歴史に深く関わるようになったという。
「以前の地域の暮らしぶりを今に伝える貴重な資料が、行政区の公民館や区長宅、個人などで保管・管理されてお



佐藤 征子さん
Sato Seiko

〔仁田子区〕

さとう せいこ / 新甲佐町史
研修会講師。第1回研修会は、
8月24日（土）午前10時から
町生涯学習センター・ホール
にて開催予定。専門は民俗学。

り、町史の編集作業の中でそれらをお借りしました。江戸末期や明治時代の地域の決め事や催し事、日常生活の様子などが記録されており、当時の人々の生活が、地域と強く結びついていたことを感じます」と話す佐藤さん。
「歴史を見直すことで、身近な風景が違って見えます。『新甲佐町史研修会』などを通して、地域の歴史に触れてもらい、甲佐町を見直すきっかけにしたいです」と呼び掛ける。
「歴史を学ぶことで、将来に活かせることもあると思います。地域社会との関わりが疎遠になりがちな現代社会において、地域と密着した日常生活を送っていた昭和以前の人々の生活は参考になるかもしれません。過去を理解し、これからの生活に活かすためにも研修会などを通して皆さんに伝えていきたいです。また、残された貴重な資料を次の世代へ守り、受け継ぐことも考えなければいけません」と語る佐藤さんは、甲佐の未来を見据えている。